

30年新設の学生寮の 6割超が首都圏＋京阪神！ 29年開設の学生寮では約7割が首都圏！

旺文社教育情報センター 29年11月30日

旺文社教育情報センターでは、当社刊行の螢雪時代 8月臨時増刊『全国 大学内容案内号』で行なった学生寮の有無についてのアンケート調査をもとに、学生寮の現況をまとめた。今回は、その中の新設の学生寮について掘り下げてみた(アンケート結果と併せて大学HPでも調査)。

なお、学生寮を有する大学は、国立大学ではほぼ全て、公立大学では約27%、私立大学では約50%となっており、昨年度の状況と大きな変化はない。

◆東京の聖心女子大学、大阪の関西外国語大学などで大規模学生寮が完成へ。

今回の調査で判明し、平成30年の4月から新入生を受け入れることになる「新しい学生寮」は、次の通り(旺文社教育情報センター調べ)。

- ・足利工業大学 (平成30年4月、足利大学に名称変更予定)

足利大学 女子学生寮(女子)

[所在地] 足利市巴町(本城キャンパス近隣)

※平成29年12月より在学生の入居開始。(新入生は30年4月より)

※系列の足利短期大学との共用。

※部屋は個室タイプ。

●最大収容数：40人

- ・千葉科学大学

女子学生向け学生寮(女子)

[所在地] 銚子市清川町(大学まで自転車で20分)

※平成30年3月完成。(3月29日より入寮可)

※部屋は個室タイプ。

●最大収容数：32人

- ・慶應義塾大学

元住吉国際学生寮(男女)

[所在地] 川崎市中原区

※大学と民間が提携して運営。

※外国人留学生との混住型。

※部屋は個室タイプ。

●最大収容数：163人

・慶應義塾大学

綱島 SST 国際学生寮（男女）

[所在地] 横浜市港北区

※大学と民間が提携して運営。

※外国人留学生との混住型。

※部屋は個室タイプ。

●最大収容数：156人

（この2件を含め同大学の持つ学生寮は計10件、総収容人数は1,524人となる予定）

・國學院大学

学寮 まほろば（男子）

[所在地] 川崎市宮前区

※詳細は、準備が整い次第、順次公開予定。

※部屋は個室タイプ。

●最大収容数：73人

・聖心女子大学

学生寮（南棟・北棟）（女子）

[所在地] 大学キャンパス内

※南棟は平成30年4月から、北棟は同年9月から運用開始。

※外国人留学生との混住型。

※居室は個室だが、8人でリビング・浴室・洗面所等を共有するユニットタイプ。

★これまでの閉寮期間をなくし、通年（12ヶ月）滞在が可能。これにより就職活動やインターンシップ、ボランティア等の社会活動が有利にできる。

●最大収容数：約350人

・帝京大学

宇都宮キャンパス「国際学生寮」（男女）

[所在地] 宇都宮キャンパス内

※外国人留学生との混住型。

※居室は個室だが、4人でリビング・浴室・洗面所等を共有するユニットタイプ。

●最大収容数：200人

・長岡技術科学大学

LinkTeCH House（リンテックハウス）（男女）

〔所在地〕 大学キャンパス内

※外国人留学生との混住型。

※シェアハウス型。

※男子の収容人員のうち12名まで、身体上の障がいがある学生の入居が可能。

●最大収容数：82人

・新潟医療福祉大学

N-Village 伍桃（男女）

〔所在地〕 大学キャンパス内

※住居棟は2階建て。1フロアに12室の居室（個室）を配置したシェアハウス型。

●最大収容数：311人

・長野県立大学

後町キャンパス象山寮（男女）

〔所在地〕 長野市西後町

※1年次は全寮制。

※外国人留学生との混住型になる計画。

※居室は2人部屋（可動式の間仕切りあり）。

※8つの居室（16人）で1ユニットを構成。リビングラウンジ、ダイニングキッチン、シャワールーム、洗面ドレッサー等を共有。

●最大収容数：320人

・京都女子大学

新学生寮（女子）

〔所在地〕 大学キャンパスに隣接

※平成29年秋に竣工予定。

●最大収容数：288人

・京都女子大学

東山寮【増築】（女子）

〔所在地〕 大学キャンパスに隣接

※平成30年春に全面リニューアル・増築完成予定。

●最大収容数：216人

・関西外国語大学

Global Commons 結-YUI-（男女）

[所在地] 御殿山キャンパス・グローバルタウン内

※外国人留学生との混住型（収容人数の半数が留学生になる予定）。

※23室または27室で1つのユニットを構成し、計27ユニットを設置。各ユニットには、リビング、キッチン、ダイニング、シャワールームなどの共同設備がある。

●最大収容数：700人

・神戸薬科大学

如修塾（女子）

[所在地] 大学キャンパス内

※既存の寮のリニューアル・リノベーションを実施。平成30年度より新装。

※改修後の詳細は平成29年12月頃に公開予定。

・流通科学大学

国際交流施設 学生寮「RYUTOPIA」（男女）

[所在地] 大学キャンパス内

※外国人留学生との混住型。

※居室は個室だが、6人でラウンジやキッチンを共有するユニットタイプ。

●最大収容数：192人

・別府大学

新学生寮（12月初旬に名称決定予定）（男女は不明）

[所在地] 大学敷地内

※平成30年2月に完成予定。

※部屋は個室タイプ。

●最大収容数：100人

以上、16件が「平成30年新設」となる学生寮だ（リニューアル・リノベーションの1件を含む）。

◆29年には23件の学生寮が運用開始。首都圏の総合大学で新設が相次ぐ。

前年の調査に基づく「学生寮」の状況も見てみよう。平成29年の春から運用を開始した学生寮は、次の通り。

・筑波大学

Global Village（男女）

[所在地] 大学キャンパス「西地区」

※外国人留学生との混住型。

※シェアハウスタイプ・5人で1ユニット。

・聖徳大学

相模台寮（女子）

〔所在地〕松戸市岩瀬

※居室は個室タイプ中心。（一部、2人部屋）

・青山学院大学

国際学生寮（武蔵小杉）（男女）

〔所在地〕川崎市中原区

※外国人留学生との混住型。

※民間マンションの2フロアを大学が借り上げ、平成29年4月から国際学生寮として運用開始。

・青山学院大学

国際学生寮（相模原）（男女）

〔所在地〕相模原市中央区

※外国人留学生との混住型。

※マンション内の2フロアを大学の国際寮として活用。

・慶應義塾大学

日吉国際学生寮（男女）

〔所在地〕横浜市港北区

※外国人留学生との混住型。

※大学と民間が提携して運営。

・国際基督教大学

楓寮（男女）

〔所在地〕大学キャンパス内

※外国人留学生との混住型。

・国際基督教大学

樅寮（男女）

〔所在地〕大学キャンパス内

※外国人留学生および大学院生との混住型。

・順天堂大学

（さくらキャンパス）女子寮（女子）

〔所在地〕さくらキャンパス（印西市）内

※スポーツ健康科学部と医学部の新入生は全員入寮。

※各階にリビングルームやリラックススペース（コモンスペース）を設置。

・創価大学

滝山国際寮（男子）

〔所在地〕 大学キャンパス内

※外国人留学生との混住型。

・創価大学

万葉国際寮（女子）

〔所在地〕 大学キャンパス内

※外国人留学生との混住型。

・帝京大学

八王子キャンパス「国際学生寮 府中」（男女）

〔所在地〕 府中市分梅町

※外国人留学生との混住型。

・帝京平成大学

ルミエールちはら台（女子）

〔所在地〕 市原市ちはら台（ちはら台キャンパス内）

※入寮対象：健康医療スポーツ学部看護学科に所属する女子学生、および左記以外で大学が認めた女子学生。

※4つの居室で1つのユニットを構成。

・電気通信大学

UEC Port 学生宿舎（男女）

〔所在地〕 調布市小島町

※「ドーム絆」（個室タイプ）と「ドーム友達」（ユニットタイプ）の2棟。

※いずれも外国人留学生および東京外国語大学学生・東京農工大学学生・東京工業高等専門学校学生との混住型。

・東京工業大学

洗足池ハウス（女子）

〔所在地〕 大田区南千束

※女性研究者との混住型。

※3つの個室とダイニングを共有するユニット形式。

・東京工業大学

緑が丘ハウス（男子）

〔所在地〕目黒区緑が丘

※男性研究者との混住型。

・日本大学

バンデリアン稲城（男子）

〔所在地〕東京都稲城市

・武蔵野音楽大学

むらさき寮（女子）

〔所在地〕江古田キャンパス近隣

※新キャンパス開発に伴い一時閉寮していたが、耐震補強工事を行い、平成29年4月より運用再開。

金沢大学

学生留学生宿舎（北溟 HOKUMEI）（男女）

〔所在地〕角間キャンパス内

※学生留学生宿舎の6～9号棟が新入生対象の「北溟（HOKUMEI）」。

※1ユニット外国人留学生3人と日本人学生2人の計5人によるシェアハウス型（男女別）。

・豊田工業大学

久方寮（男女）

〔所在地〕大学キャンパスに隣接

※1年次は全寮制。

・びわこ成蹊スポーツ大学

MUSASHI（男子）

〔所在地〕非公表

※男子専用アスリート寮。

・京都精華大学

国際学生寮「修交館」（男女）

〔所在地〕京都市左京区

※外国人留学生との混住型。

・四国大学

国際寮（男女）

[所在地] 大学キャンパス内

※外国人留学生との混住型。

・高知県立大学

さくら寮（男女）

[所在地] 池キャンパス・グラウンド南側

※外国人留学生との混住型（国際寮）。

以上、23 件。

筑波大学、青山学院大学、慶應義塾大学、国際基督教大学、創価大学、帝京大学、電気通信大学、東京工業大学、日本大学など、既に学生寮を持つ大学が多く、「学生寮を持つ大学」の数が増えているわけではない。

また、平成 29 年春に新しい学生寮の運用を開始した大学では、上記の顔ぶれに見るように学生数の多い首都圏の大学が目立つ。

◆地方出身者を取り込む手段として「学生寮の設置・充実」が今まで以上に重要に。

都心の大学が 29 年・30 年に新設する学生寮では、大学が民間と提携した形（大規模集合施設の一部を学生寮にする、あるいはマンションの複数フロアを学生寮にする…等）での建設が目につく。平成 29 年の青山学院大学・国際学生寮（武蔵小杉）（相模原）や、30 年の慶應義塾大学・綱島 SST 国際学生寮などがこのスタイル。31 年 4 月の開設をめざす上智大学の信濃町国際学生寮（仮称）も一般財団法人の敷地の一部を借用して建設されるもの。

平成 30 年に新設される学生寮で興味深いのは、聖心女子大学の学生寮。

従来の学生寮を全面建て替えし、収容人数も 100 人増の 350 人となる点は注目される。

また、この新しい学生寮では『これまでの閉寮期間(*)をなくし、通年（12 ヶ月）滞在が可能』となる。同大学ではホームページ上で、その効果を次のように記している。

-
1. 就職活動や、地域との連携、インターンシップ等の社会活動も、より広がります。
本学は 2020 年東京オリンピック・パラリンピック協定大学ですが、こうした際のボランティア活動をはじめ種々のグローバルな活動にも有利になります。
 2. 学修にも課外活動にも便利になり、学生生活全体が豊かに彩られます。
 3. 留学生にもさらに便利になり、日常的な国際交流の場としての利用が促進されます。

(*)閉寮期間：従来の学生寮では、夏休みや年末年始の大学の長期休業期間においては、原則として寮生は寮内に留まることができず、帰省したり他の宿泊場所を確保したりする必要があった。

都心（渋谷区広尾）にキャンパスを構える同大学が、遠隔地からの学生募集に力点を置く

(350人収容の学生寮を新設する)ことと、寮生が首都圏に居住する学生と同様にさまざまな学内外の活動に注力できるようになる(閉寮期間をなくす)ことは、“攻める女子大学”へ歩を進めている表れのようなのだ。

地方出身の学生を確保するための手段として学生寮を設置・充実させる大学は少なくない。また、それと平行して海外からの留学生を確保するための必須条件として、学生寮は重要な要素となってきている。

さらに、大学で学ぶ日本人学生にとっても、国内の普段の生活の中で異文化交流ができるメリットも見逃ごせない。

海外からの留学生のさらなる受け入れや、在学生の国際交流活動を増進させることを目的とした「国際学生寮」も、昨今の新設学生寮の中では目立つ。混住型は従来からあったが、近年の国際学生寮は“共同生活”“国際交流”“国際感覚の練磨”といった教育効果をより強く意識したものに進化したと言える。このスタイルの学生寮は『世界で活躍できるグローバルな人材育成の役割』を担っていると言ってもよいだろう。

平成30年4月から新設学生寮を運用開始する大学では、16件中6件が「首都圏」、5件が「京阪神」。また、同29年4月から運用を始めた23件の学生寮では16件が「首都圏」となっている。大学数が圧倒的に多いエリアの大学で学生寮の新設が目立つが、安定した学生確保のため、地方出身者を今まで以上に呼び込む必要があるということだろう。

「地方出身者を…」というポイントを、大学としての計画で明確に打ち出しているのが國學院大学。

同大学では、「21世紀研究教育計画(第4次)」を策定し、平成29年4月から取り組みを開始している。その計画を具現化するための事業計画書の中の「教育改革」では、事業の一つとして『地方入試制度の改編』を掲げて「地方から本学への志向性が高く、確かな学力のある地方からの入学者を確保し、全国区大学を目指す。」と明示している。

同大学で28年から運用を開始しているのが女子学生寮(学寮「常磐木」収容人数:116名)。この女子寮同様に、地方出身者ならびに留学生を対象とした男子学生寮(学寮「まほろば」収容人数:73人《予定》)の開設も、前述のとおり平成30年に予定されている。

この女子学生寮では、「学寮メンター」と呼ばれる大学職員が関わり、寮生活を学生が有意義に過ごせるようにサポートする。この学寮メンターは、国際交流(語学)、キャリア支援、学生生活(寮生活)の各女性大学職員が担当している。

また、女子学生寮では、RL(Resident・Leader)という学生リーダーが学生と一緒に寮に居住。寮での日常生活や勉学・課外活動等について、相談相手になっているという。この学生リーダーは、大学によって厳正に選考され、研修を受けた上で採用される。

こういった仕組みが、首都圏で暮らし、首都圏の大学で学ぶ上で地方出身者にとって魅力的なのは言うまでもないことだろう。